

農山漁村振興交付金(農泊推進型) 重点指導結果

事業実施主体名: すみれアセットマネジメント株式会社(飛騨朝日地域活性化推進協議会)

令和7年8月6日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	事業名	取組概要
岐阜県 高山市	令和2年度	市町村・中核法人実施型	古民家を一棟貸しの宿泊施設に改修し、インバウンドに向けたストレスフリーな滞在空間を提供することで、高山周辺地域の活性化を目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

農水省の専門家派遣事業を活用し新たなターゲット層の検討や施設改修の実施、食事メニューの見直し等積極的に活動したが、活動内容が宿泊者数の増加につながっておらず、成果を上げているものと認められない。

今後は、新たに設定したターゲットに向けて、Kabuto Villasを起点とする周遊ツアー等を楽天トラベルやAirbnb等のOTAサイトや自社サイトで情報発信することにより、集客力の向上が期待される。

(指導・助言等)

本事業で整備した宿泊施設について、早期に「売上高」及び「延べ宿泊者数」の目標を達成するため、新たに設定したターゲットに向けて当該施設を起点とする周遊ツアー等を情報発信するなど、集客方法の改善を図ること。また、外部要因の影響により予定どおりの実施ができない場合も想定し、あらかじめ対応策を検討するなど、工夫されたい。

2. 低調と評価された要因

・「売上高」及び「延べ宿泊者数」のいずれも目標に及ばなかったため。

3. 目標達成に向けた方策

・複数のOTAサイトの登録や、Web支援サイトなども利用しながら予約サイトの充実を図る。
・インバウンド向け動画制作を行い、インバウンドに対する情報発信も実施する。
・ペットと一緒に泊まれる施設を整備し、ターゲット層の拡大を目指す。

4. 改善状況

令和6年度の実績については、達成率として、売上高51%(令和5年度は15%)、延べ宿泊者数は25%(令和5年度は8%)となっており、目標達成には至らないものの、増加傾向である。

令和6年6月から簡易宿泊業へ申請を切り替え、複数のOTAサイトへ登録し、Webサイトの運営等について支援を受けた。また、ペット泊の需要を取り込むため、建物の一部を改修するとともに、滞在中のコンテンツを充実させるため、ネイチャーガイドを雇用。

令和7年度は、宿泊者の長期滞在につながる体験コンテンツ等の充実を図ることや、地元の方に施設を利用していただくためのイベントを開催すること、また、OTAサイトや自社サイトで地域及び施設についての情報を発信すること等により、誘客の強化に取り組むよう指導してまいりたい。

農山漁村振興交付金(農泊推進型) 重点指導結果

事業実施主体名: 有限会社のぞみ(岡崎市ぬかたブランド協議会)

令和7年8月6日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	事業名	取組概要
愛知県 岡崎市	令和4年度	市町村・中核法人実施型	岡崎市における農山漁村の地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ農泊事業を推進することで、地域内の所得向上や雇用の増大を実現し、地域活性化を図る。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

当初のターゲットである介護向けだけでなく、若い世代の少人数グループを誘客するために、OTAサイトに掲載したものの、売上高・延べ宿泊者数のいずれも未達成であり、成果を上げているものと認められない。

今後は、地域内の体験プログラム等との連携を強化し、積極的な集客に取り組んでいただきたい。

(指導・助言等)

本事業で整備した宿泊施設について、早期に「売上高」及び「延べ宿泊者数」の目標を達成するため、ターゲットに向けた情報発信等を積極的に実施するなど、集客力の強化を図ること。

また、外部要因の影響により予定どおりの実施ができない場合も想定し、あらかじめ対応策を検討するなど、工夫されたい。

2. 低調と評価された要因

・「売上高」及び「延べ宿泊者数」のいずれも目標に及ばなかったため。

3. 目標達成に向けた方策

- ・ターゲット層に合わせたホームページの改定。
- ・英語版を含めたOTAサイトへの登録。
- ・顧客満足度調査の実施。

4. 改善状況

令和6年度の実績については、ホームページの情報発信に加え、近隣事業者の協力のもと集客を行ったが、達成率として、売上高16%(令和5年度は26%)、延べ宿泊者数は45%(令和5年度は48%)となっており、目標達成には至らなかった。

令和7年度は、旅行予定者に対し体験コンテンツ等を紹介し宿泊を含めた長時間の滞在を促すこと、地域及び施設についての情報を発信すること、また、コンセプト及び取組をブラッシュアップすること等により、誘客の強化に取り組むよう指導してまいりたい。

農山漁村振興交付金(農泊推進型) 重点指導結果

事業実施主体名: 覚田真珠株式会社(先志摩「ミライ里海里山」協議会)

令和7年8月6日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	事業名	取組概要
三重県 志摩市	令和4年度	市町村・中核法人実施型	「インバウンドや国内の富裕層を主なターゲットとし、高付加価値 / 高単価の体験型コンテンツを提供する」というコンセプトのもと、施設整備を実施し、新たに体験プログラム及び食メニューを開発する。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

国内外の富裕層をターゲットとする取組は、農泊の新しい形として評価できるものの、売上高及び延べ宿泊者数が未達成であり、成果を上げているものと認められない。今後は、メインターゲットである海外富裕層向けにSNS等を活用した情報発信を継続するとともに、国内向けにはスポット利用を検討するなど、誘客施策を検討いただきたい。

(指導・助言等)

本事業で整備した宿泊施設について、早期に「売上高」及び「延べ宿泊者数」の目標を達成するため、ターゲットに向けた情報発信等を積極的に実施するなど、集客力の強化を図ること。

また、外部要因の影響により予定どおりの実施ができない場合も想定し、あらかじめ対応策を検討するなど、工夫されたい。

2. 低調と評価された要因

・「売上高」及び「延べ宿泊者数」のいずれも目標に及ばなかったため。

3. 目標達成に向けた方策

・集客力のあるOTAサイトを主な販売ルートとすることで、集客力を上げる。

・雑誌やSNSによる情報発信の充実を図る。

・インバウンド層を誘致、販売を行っているオペレーターと協業し海外から集客を実施。併せて国内販売ルートの開拓を行う。

4. 改善状況

令和6年度の実績については、達成率として、売上高65%(令和5年度は30%)、延べ宿泊者数は42%(令和5年度は31%)となっており、目標達成には至らないものの、増加傾向である。

富裕層をターゲットとし、高価格OTAサイトをメインに販売を行うとともに、SNSで積極的に情報発信を行った。お客様の満足度を上げリピーターを増やすため、地域資源を活用した複数のコンテンツ開発を行った。

令和7年度は、より効果的な宣伝方法等を検討するとともに、宿泊者の長期滞在につなげるため多様な食や体験コンテンツを開発し滞在中の選択肢を増やすこと等により、誘客の強化に取り組むよう指導してまいりたい。

農山漁村振興交付金(農泊推進型) 重点指導結果

事業実施主体名:とこなめ農泊観光推進協議会

令和7年8月6日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	事業名	取組概要
愛知県 常滑市	令和3年度	農泊地域高度化促進事業 高付加価値化対応(食)	常滑市に訪れる国内外の旅行者に、地域資源を活用した食事や体験などを楽しんでいただく農泊事業を推進するための取組を実施。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

(評価コメント)

本事業で開発した「常滑牛乳キャラメル」を販売開始したものの、売上高・延べ利用者数いずれも未達成であり、成果を上げているものと認められない。
 今後は、SNS等を活用した情報発信を継続するとともに、協議会メンバーの協力も仰ぐなど、地域全体としてPR活動に取り組んでいただきたい。

(指導・助言等)

本事業で開発した「常滑牛乳キャラメル」について、早期に「売上高」及び「延べ利用者数」の目標が達成できる販売促進方法を立案すること。特に、本メニューの販路拡大にあたっては、協議会の構成員や連携体へ働きかけ、協議会全体で取り組むこと。

2. 低調と評価された要因

・「売上高」及び「開発したメニューの利用者数」のいずれも目標に及ばなかったため。

3. 目標達成に向けた方策

・地域での認知度向上のため、地域イベント等での情報発信を行う。
 ・商品パッケージに合わせた商品POPを新たに制作する。

4. 改善状況

令和6年度の実績については、達成率として、新たに開発したメニュー等の売上高92%(令和5年度は9%)、新たに開発したメニュー等の延べ利用者人数は74%(令和5年度は8%)となっており、目標達成には至らないものの、増加傾向である。
 Webサイト、SNS等で情報発信を行うとともに、協議会の構成員に販売の協力を働きかけを行った。また、地域内外のイベントに出展時に販売を行った。さらに、商品POPを新たに制作し、令和6年6月より商品の陳列場所及びレジカウンターに掲示した。結果として、前年度の28個を上回る266個を売り上げた。
 以上のように、開発したメニューの販売が軌道に乗り、売り上げの成果も見られ、自立して農泊に取り組むことができると考えられることから、今後の指導は必要ないと考え